



<KCJS 科目>

K C J S 科 目 (F a l l S e m e s t e r 2 0 2 0)

募集要項

本科目の登録者は、KCJS 科目は「Kyoto Consortium for Japanese Studies (以下 KCJS)」が本学で実施している、日本留学プログラムの講義に出席することになります。2020 年度は KCJS の学生は来日されませんが、同志社大学生、京都大学生 (予定) の学生向けに開講いただきます。講義は全て英語で行われ、積極的な参加が求められます。また課題が課せられます。

【出願方法】 下記の通り出願書類を期限までに提出すること。

出願書類 : ① 願書 (上記 URL からダウンロードのうえ、必要事項を記入)

② 下記登録資格を満たしている有効期限内の TOEFL (iBT/ITP) または IELTS スコア (A 4 コピー)
(上記以外のスコアは受付不可)

③ 面接予定確認票 (募集人数を超える出願があった場合のみ面接<オンライン予定>)がありますので、
上記 URL からダウンロードのうえ、確実に都合がつく日程にできるだけ多く〇をつけて提出のこと)

追加出願期間 : 2020 年 8 月 25 日 (火) ~28 日 (金) 17 時まで

出願方法 : ①、②、③を PDF 形式で国際課へメールで提出

国際課 E-mail : ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp

【登録資格】 以下の条件を全て満たすこと。※この登録資格は 2020 年度秋学期出願者に限る。

1. 2020 年度秋学期に同志社大学に在籍している学部生
2. 日本に関する相当の知識が必要であるため、日本での滞在期間が 3 年以上の者
3. TOEFL iBT®テスト 79 点 (TOEFL ITP®テスト 550 点) または IELTS™ 5.5 以上の英語能力を有する者

※受験日より 2 年以内のスコアであること

TOEFL iBT, TOEFL ITP はエデュケーション・ テスティング・ サービス (E T S) の登録商標です。

4. 1 回目の授業に必ず参加し、全授業の 8 割以上に出席できる者

【登録上の注意】

1. 課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められる。
2. 登録者は同志社大学の代表として KCJS の講義に参加することになる為、無責任な講義欠席は認められない。熟考の上、出願すること。
3. 本科目は、KCJS の日本オフィスの面接等による選考を経て許可を得た学生のみ登録可能。
4. 科目登録方法の詳細、単位の取扱い、履修可能な年度生であるか、などの情報は、所属学部の履修要項・登録要領および全学共通教養教育科目の履修要項を確認すること。
5. 本科目は、【2020 年度秋学期】の先行登録科目となる。
選考後、登録が許可された場合は、大学が一括して科目登録を行う為、自身での登録手続は不要。
6. 他の登録科目と時間割が重複している場合は本科目に出願できない。
7. 本科目を履修中止する場合は、国際課が指定する履修中止申請期間中に、国際課にて履修中止の申請手続きを行うこと。本科目の履修中止後に科目登録変更はできない。
8. 募集対象科目クラスは後述の 1 科目のみ。
9. 本科目で過去に一度単位を修得したクラスの登録（受講）はできない。
10. 講師の都合により、クラス時間の変更等が生じる場合がある。また、授業以外に、フィールドトリップが実施されるが、行き先が変更になる可能性がある。詳細は講義開始後にクラス担当者に直接確認すること。
11. 「Spring Semester/Quarter 2021」は、2020 年 11 月頃に募集予定。

【科目概要】

	KCJS科目
単位数	2単位
追加募集人数	10名前後
追加募集期間	8月25日(火)～8月28日(金)17時まで
面接	9月上旬にオンラインで実施予定 ※募集人数を超える出願があった場合のみ (面接詳細は願書記載のアドレス宛にe-mailで案内する)
授業期間	2020年9月28日(月)～12月10日(予定) ※第一回目の授業は9月28日(月)
費用	1万円(教科書代:別途必要) ※各自、初回授業の前 KCJS 事務室にて納金必要 KCJS 事務室=扶桑館2階 ※ <u>履修中止期間後に返金は出来ない。</u>
履修中止期間	2020年10月12日(月)、13日(火) 上記期間に国際課窓口にて申請
試験実施日	本科目登録後、講義にて直接科目担当者へ確認すること。

KCJS科目

KCJS (Kyoto Consortium for Japanese Studies) は、1989年に京都市内に設立され、一年間の海外留学生プログラムでは、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と、知的で文化的な交流を広くすすめています。このプログラムには、アメリカの13の一流大学：ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロンビア大学（バーナードカレッジを含む）、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルヴァニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学（セントルイス校）、さらにはイエール大学、ヴァージニア大学が参加しています。

【講義教室は、今出川校地にて実施。詳細は登録者へ別途連絡します。】

クラス名：Kyoto's History Through Space and Architecture

担当者：Matthew Stavros,

曜日講時：月3・木3

Kyoto was Japan's political and cultural capital for more than a millennium. Throughout most of that period, it was home and ritual center to the emperor and the civil aristocracy, the focal point of both sectarian and warrior politics, and the seat of the country's most successful industries. It was also among the world's largest cities.

The dawn of the modern era shifted attention away from Kyoto, but the city did not wither. In fact, it innovated, becoming home to Japan's first hydroelectric plant, gas-lit streets, and electric streetcar. Boasting 17 UNESCO World Heritage Sites, Kyoto retains the title of Japan's "cultural capital." But today, the city is also home to leading universities and a thriving tech industry.

This course examines the city of Kyoto across time with a focus on city planning, architecture, and material culture (art and objects!). We will leverage our location in the heart of the city to visit sites of both historical and cultural significance. Students will learn techniques for critically examining cityscapes and monuments, how to document them, and how to report on them in ways that are intellectually compelling.

※シラバスは、KCJS科目：https://international.doshisha.ac.jp/akp_kcjs_stanford_tub/kcjs.html でご確認ください。